

令和7年度 人吉市議会報告会及び意見交換会 議事要旨

【第1回】

- 日 時 令和8年1月31日（土）午後2時～午後4時
- 場 所 人吉市役所2階 201・202会議室
- 参加者 17名
- 次 第
- 1 開会（福屋法晴 副議長）及び主催者（宮原将志 議長）挨拶
 - 2 議会報告（各委員会の報告）
 - 総務文教委員会（松村 太 委員長）
 - 厚生委員会（池田芳隆 委員長）
 - 経済建設委員会（牛塚孝浩 委員長）
 - 復興・安全まちづくりに関する特別委員会（牛塚孝浩 委員長）
 - 3 各常任委員会に分かれてグループ意見交換会
《テーマ》
 - ・総務文教委員会：公共施設の在り方について
 - ・厚生委員会：高齢者支援について、ごみの回収方法等について
 - ・経済建設委員会：インフラ全般について
 - 4 全体での意見交換会
 - 5 閉会（福屋法晴 副議長）
-

【総務文教委員会】

《質疑応答・意見》

- Q カルチャーパレスのプラネタリウムの観賞ができないが、いつ頃観られるようになるのか。
- A カルチャーパレスの施設そのもの及びプラネタリウムの装置が古くなり、熊本地震が起きる以前は週末だけ上映できていたが、熊本地震以後は機械に不調が続き、交換部品もなく修理ができない状況から上映を中断しています。現在、装置の新規導入とカルチャーパレスの施設の維持管理について、市は検討中であり、3月に市長から今後の方針が示される予定です。
- Q カルチャーパレスに図書館があるが、図書館に行くまでの道路が狭く、小中学生が図書館まで行くには危険である。町なかに図書館を造ってもらえないか。いきなり図書館を造るのは厳しいので、町なかの「ひとはこ図書館」の存続はできないか。
- A 市も災害後から、町なかに人が集う場所というテーマで議論を重ねています。また、多くの保護者からも天候にかかわらず子供と一緒に活動できる場所が欲しいという要望も伺

っています。カルチャーパレスの今後については3月に方向性が示されるので、それを待っている状況です。総務文教委員会において、図書館と公共施設（文化ホール）が一体となった自治体を視察研修しておりますが、その自治体は、人の流れを最重点課題として施設を建設され、国からの特例債を活用し建設されていきました。図書館を町なかにと言われますが、町なかは令和2年に被災した地域です。市民のニーズに合った、市民が安心して集える建設場所と建設方法を示し、執行部に求めていきたいと思っております。

Q 図書館を市内にわざわざ建てるよりも、人吉駅を利用するという考えはどうか。

A 執行部に伝えます。

Q 人吉市には現在、外国人の方が何人在住されているのか。また、外国人の方たちとの交流の場を考えているのか。

A 人吉市に住民票がある外国人の方は現在375名、世帯数は299世帯です。今のところ人吉市では、外国人との文化交流の場は設けていないので、今後、人吉市独自で文化交流ができる場所づくりに取り組んでいきます。

Q カルチャーパレスは建て替えなのか、修理なのか分からないが、建て替えとなると何十年後にもなるのではと心配している。施設の耐用年数も20年近く残っているということで、最小限の修理をして使うことはできないか。しかも、ここ3年程、犬童球溪頭彰音楽祭はスポーツパレスで行われている。カルチャーパレス大ホールを早く使わせてもらうことはできないか。

A カルチャーパレスについては、本年3月に市長が方針を明らかにされます。

Q 市公式ラインに犬童球溪頭彰音楽祭の掲載がなかった。音楽祭の存在を広め、多くの観衆に参加してもらうためにもラインへの掲載をお願いする。

A 執行部に伝えます。

Q 東間校区（浪床町）では、肥薩線（山線）の周囲の草刈り作業をしている。肥薩線の開通を願うなら、地域住民及び周辺自治体が肥薩線の開通を願う本気度を表す行動をとるべきと思うが。

A 執行部に伝えます。

【厚生委員会】

《質疑応答・意見》

- Q 一人暮らしの高齢者が緊急入院したときに、郵便物がたまっていて防犯上心配である。郵便物を近所の人が回収していいのか。入院先も教えてもらえないが、近所の我々はどうすればいいのか。
- A 本人の所在確認や病院への照会は個人情報の関係で難しいです。そのため、家族や親族と連絡が取れない場合は、町内会長や民生委員、または市役所（高齢者支援関係）へ相談してください。郵便物等は原則、本人以外は勝手に回収できません。ただし、親族の了承がある場合や本人の意思が確認できる場合は、一定の対応が可能です。また、郵便局の「転送手続き」を本人または家族が行えば親族宅に転送できます。
- Q 入院しているかどうかすら病院は教えてくれない。どうすればいいのか。
- A 病院は個人情報の関係で、第三者への回答ができません。本人や家族が同意している形をつくること、また市役所や社会福祉協議会と連携することが必要です。
- Q 近所で支援が必要そうな高齢者がいても、どこに連絡していいのかわからない。
- A 日頃からの地域のつながりが重要ですが、市役所や社会福祉協議会の窓口につないでください。また、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報をまとめる「命のバトン」などの仕組みがあります。ただ、本人が自宅で倒れた場合には役立ちますが、入院先が不明な場合や第三者が関与する場合は機能しにくいことがあります。
- ・ 要支援者名簿があるが、「昼間だけ独居」など対象から外れるケースもあり、取り残される人がいる。
 - ・ 個人情報の取り扱いが難しい点も課題としてある。
- Q 地域の人が困った時のルールが必要ではないか。困ったときは誰に相談していいのかわからない。
- A 私たち（議員）に相談いただき、一緒に市役所へ行くこともできます。電話だけでは進まないこともあるため、同行することが有効なときもあります。
- Q 空き家が危険で迷惑になっている。行政はどう対応できるのか。
- A 空き家は所有者の意向が大きく、親族が戻るかもしれないので残したいなどで動かないケースがあります。制度上、特定空き家等に認定されれば税制や行政対応は変わりますが難しいのが現状です。
- Q 空き家対策は条例で強制できないのか。条例と罰則規定が必要ではないか。
- A 上位法との関係もあり簡単ではありません。

【経済建設委員会】

《質疑応答・意見》

Q スマート農業とはどういうものなのか。

A 広大な面積の農地を確保した上で、その農地を集積・集約化し、電波塔を設置して、その電波が届く範囲内で大型機械が自動で動くというような仕組みづくりをされているところがほとんどです。

Q スマート農業の機械は、電波が届けば勝手に動くのか。それとも人が乗っておく必要があるのか。

A 機械を動かすには、電波を発信する基地局の整備が不可欠です。操作については、最初に一度手動で圃場（田畑）を回ること、AI（コンピューター）が学習します。その後はボタン1つで自動走行が可能になりますが、事故防止のための見守りは必要です。オペレーターの労力削減や作業効率の向上による単収（面積当たりの収穫量）アップといったメリットがあります。

Q 人吉市のような小さい圃場（田畑）でもスマート農業は可能なのか。

A スマート農業は大規模な圃場ほど有効ですが、人吉市のような環境でも畜産、水管理、草刈りなどできることから取り組む調査研究を進めています。具体例として、いちごハウスの温度・湿度管理をスマートフォンで遠隔操作する仕組みやドローンの活用などを検討しています。なお、スマート農業を最大限に生かすには、農地の集積・集約化が必要です。

Q 苗作りや代かきをしない乾田直播を広めてはどうか。

A かつて人吉市でも導入されましたが、雑草対策などの難しさから辞める人が多かった経緯があります。しかし、人件費や経費削減の観点から非常に有効であり、国も推奨しています。農家の高齢化による耕作放棄地の増加を防ぐため、来年度以降も補助金（支援金）などを通じて、乾田直播を含む省力化への支援を検討していく方針です。

Q インフラ整備について、市の予算配分はどうなっているのか。建設関係は少ないのではないか。

A 予算全体の約半分が福祉関係です。現在は災害復旧関連の影響で、農地関係を含む建設関係が次に多い状況です。

Q 道路の補修が進んでいないようだが。

A 令和7・8年度の2年間で計2億円を投じ、現在ピックアップしている34路線を随時補修していく計画です。

Q 次世代の森づくり対策事業とはどのような内容なのか。

A 人吉市は杉よりもヒノキの割合が多く、ヒノキを扱う工場も誘致されているため、ヒノキの造林を行う事業者に対し、予算（約500万円）を計上し支援する事業です。

Q 保水力を高めるために、杉やヒノキだけでなく広葉樹を植えるべきではないか。

A 昭和初期に比べ、現在の山は保水力が落ち、すぐに増水・濁水する傾向にあるとの指摘は貴重な意見として受け止めます。広葉樹との混植などの提案についても、今後の課題として市へ伝えていきます。

Q 国有林内での害獣駆除に制限があるのは困るのだが。

A 民有林だけでなく国有林でも自由に駆除ができるよう、国会議員への働きかけや事実確認を含め、今後進めてまいります。

Q 高額な農業機械を個人で買うのは大変だ。市で買い取って貸し出すなどの支援はできないか。

A 農地の集積を行う組織などに対し、新たな補助金制度を創設するよう現在市へ要望している段階です。

【全体意見交換会】

《質疑応答・意見》

Q 市は、かなりの経費をかけて多くのコンサルタントと委託契約し、まちづくりへの社会実験を行っている。コンサルタントは実績報告書を作ると思うので、その成果が市民にも確認できるように、市ホームページ上でも結構なので報告が欲しい。

A 議会としても執行部と協議・検討し、皆さんに分かりやすい方法で周知を行うように進めていきます。

Q 去年6月のテレビで、「教訓から描く未来2020年7月豪雨から5年」という番組があり、その中で大学の先生が、水害発生前日の午後11時20分には福川周辺が溢れ出ていると言われていたが、この福川の水が溢れた原因は何だったのか。そして、その対策は、どんな方法があるのか知りたい。また、テレビでは、薩摩瀬町からハローワーク横の道路を通って、避難所の人吉スポーツパレスへ避難する時、豪雨により水が溢れて避難できなかったという報道があった。去年8月の雨の時にも溢れていた。この道路が溢れる原因は何だったのか、その対策はどのようになっているのか知りたい。さらに、避難する時に、短時間に膝下から胸元まで水かさが上がった原因は何だったのか、その対策はどのようにされるのか知りたい。

A この件については正確を期しますので、頂いた意見を執行部に伝えて協議します。

※ 執行部から次のとおり回答がありました。

(管理する球磨地域振興局土木部工務課に確認し回答)

福川の溢れた場所によって事象が異なり、その原因も様々であるため回答が難しいところですが、対策として国・県並びに球磨川流域市町村が一体となって進めている「球磨川水系流域治水プロジェクト」の考え方の下、球磨川における河川・堤防の整備、流水型ダムなどの整備、遊水地や田んぼダムの活用や森林整備など、流域関係者が協働し、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすためのあらゆる治水対策を実施することで、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対しても、同様の被害を生じさせない取組を進めています。

また、御溝川二次放水路分流施設の運用を令和7年4月1日から開始しておりますが、令和7年8月7日の豪雨時にご指摘の箇所については冠水被害が発生したことを確認しております。その際、物的・人的被害の報告はございませんでした。大雨が想定される場合は、御溝川二次放水路分流施設については平常時操作から洪水時操作に切り替え、御溝川に流下した全水量を二次放水路へ流していますので、分流施設から下流へ御溝川本川の水は流れません。しかしながら、それより下流域で降った雨や御溝川に流れ込む複数の用排水路により越水が発生したことが考えられます。今後も御溝川二次放水路の整備効果を検証してまいります。まずは二次放水路のより効果的な運用のため操作方法の見直しを検討しています。併せて未整備区間（特に住家連担地）につきましては、ハード対策に加え土地改良区管理樋門の操作との連携などソフト対策を組み合わせ対応してまいります。

Q 青井地区では避難路整備があちこちできているようだが、私たちの方ではなかなか整備されない。その辺りを考えていただきたい。

A その件についても、正副議長の方で対応していきます。

※ 執行部から次のとおり回答がありました。

避難路整備計画事業としましては、人吉市復興まちづくり計画に掲げております「災害に負けないまちづくり」を柱として、市内22箇所、26路線の避難路整備に着手しています。

整備する箇所が多岐にわたりますことから、事業実施に当たりましては、被災状況や今後の災害リスクなどを踏まえ、優先順位を付けて進めています。

特に被害が大きかった温泉・薩摩瀬地区、球磨川左岸地区、青井地区などは優先度を高く位置づけ整備を進めていますが、整備延長も長いことから、年度計画で工区分けしながら進めています。また実施に至るまでにクリアすべき課題も多く、予定どおりの進捗が図れない場合もございます。

温泉町の温泉町地内第1号線は整備が完了しており、現在、薩摩瀬地区では相良薩摩瀬第2号線、薩摩瀬湯の本線、球磨川左岸地区では矢黒下戸越線、青井地区では土地区画整理事業に伴う避難路整備をはじめ村山観音道路線などの整備に鋭意取り組んでいます。

いずれにしましても1日も早い整備完了を目指し、今後も懸命に取り組んでまいりますので、何とぞご理解いただきますようお願いいたします。

Q 令和2年7月豪雨災害で、人吉市で亡くなられた方は20名、そのうち一番多かったのが下薩摩瀬町の方で5名である。市民の方々が本当に自分たちの命は自分で守れるかという対応を執行部と協議されて、その回答を私たちに教えてもらえるか。

A 本日の意見交換会の内容は、執行部と相談して、市ホームページ、市議会だより等で取りまとめたいと思います。

Q 東校区では、防災課の提案でコミュニティタイムラインを作っているが、その作り方は、各地区によって災害の捉え方、起き方が違うので、コンサルタントの指導どおりの作り方は作れない。願成寺町の例を取ると、球磨川が氾濫したと言ってもそれを見ることはできない。また、願成寺町内には土砂災害危険地域が6か所ある。避難する場合には、願成寺町から東小学校に避難しようとする人は誰もいない。避難したい場所を尋ねると、中小企業大学校や人吉高校を開けてくれと言われるが、両箇所とも開けてもらえない。人吉高校には、トイレがない、空調機がないからと言われるが、移動式トイレを人吉高校に移動したらどうか。コミュニティタイムラインの作成には、入り口と出口が大切である。コミュニティタイムラインの作成の方法について、議会の方でも検討していただきたい。

A コミュニティタイムラインの作成については、作ることを目的化していることが一番の問題であり、住民の行動が変わるような、コミュニティタイムラインの作成をしなければならないと思っていますので、我々もこれからしっかりと勉強していきます。

Q 緑の流域治水でまちづくりが進んでいるが、被災から6年、その後のまちづくりはどのようになっているのか。また、中川原公園は6年たった今でも、なぜ市民が使えない状態にあるのか教えてもらいたい。

A 執行部、または市長にこういう話があったことを説明し、例えば、町内会連合会の会議等で説明するようにお願いしたいと思います。

Q 昨年、市営住宅においても高齢者の一人暮らしの孤独死があったと聞いているが、高齢者の見回りは民生委員だけではできないと思う。特に、一人暮らしの高齢者の情報を地域住民に公開はできないか。

A 執行部に伝えます。

【第2回】

- 日 時 令和8年2月1日（日）午後2時～午後4時
- 場 所 東西コミュニティセンター2階 会議室1. 2
- 参加者 15名
- 次 第
- 1 開会（福屋法晴 副議長）及び主催者（宮原将志 議長）挨拶
 - 2 議会報告（各委員会の報告）
 - 総務文教委員会 （松村 太 委員長）
 - 厚生委員会 （池田芳隆 委員長）
 - 経済建設委員会 （牛塚孝浩 委員長）
 - 復興・安全まちづくりに関する特別委員会 （牛塚孝浩 委員長）
 - 3 各常任委員会に分かれてグループ意見交換会
《テーマ》
 - ・総務文教委員会：公共施設の在り方について
 - ・厚生委員会：高齢者支援について、ごみの回収方法等について
 - ・経済建設委員会：インフラ全般について
 - 4 全体での意見交換会
 - 5 閉会（福屋法晴 副議長）
-

【総務文教委員会】

《質疑応答・意見》

- Q カルチャーパレス大ホールの改修費が約6億4千万円と提示されているが、その内訳や妥当性が分かりにくい。安全確保に直結する客席天井や吊り物設備の改修を優先し、どんちょうなど緊急性の低い部分は段階的に整備するなど、優先順位を明確にすべきではないか。また、一度に多額の予算を投じるのではなく、年次計画による段階的改修も検討すべきではないか。
- A 改修費は安全基準や耐震基準に基づいて算出されているものであり、財政負担とのバランスを踏まえながら精査を行っているとの説明を受けています。市から3月までに改修か建て替えかを含めた方向性を示すとの答弁がっております。
- Q 3月に示される方向性が最終決定なのか。また、建て替えとなった場合は立地や規模、建設期間中の文化活動の扱いなども示されるのか。
- A 3月に示されるのはあくまで方向性であり最終決定ではありません。建て替えの場合は、現在地での建設か別地建設かによって議論の内容が大きく異なります。そして、その後に議会で財源や規模、配置等を含めて精査していく流れになります。また、市民の意見を反映する機会については、3月に示される内容や今後の進め方により異なりますが、議会としても市民の声を踏まえて審議していきます。

Q 文化施設の評価を費用対効果のみで判断すべきではない。人吉球磨地域においては、自然や歴史に加えて文化が地域の魅力を構成しており、地方都市で生の演劇や音楽に触れられる環境は貴重である。

A 公共施設は利用料だけで維持管理費を賄うものではなく、一定の公費負担を前提とするものであります。文化施設をゼロにする議論ではなく、改修か建て替えかの選択の問題であること、また、持続可能な公共文化施設を目指し、有利な起債や補助制度の活用を検討しております。

Q カルチャーパレス大ホールが使用できないことにより、バレエ発表会や合唱発表会などに制約が生じている。体育館での発表は音響や鑑賞環境が適さず、子供たちが本来の舞台環境で発表できないことを残念に思う。また、絵画や小規模な音楽活動の発表の場も不足している。

A 文化活動への影響は認識しており、方向性が示された後に具体策を検討する必要があります。

Q 部活動の地域移行に関しての進捗はどうなっているのか。

A 教育委員会において「人吉市中学校部活動地域移行検討会」を設置し、競技団体やPTA、地域代表等を交えて検討を進めているとの報告があっております。総務文教委員会の提言内容も共有され、受け入れ団体への支援や環境整備について検討中です。正式な中間報告はまだ議会に示されていませんが、3月に一定の報告がある見込みです。また、現在の課題として、指導者の確保が困難であることや地域移行後の個人負担増が懸念されています。

Q 交差点において一時停止線や横断歩道の白線が消えており危険である。

A 横断歩道や停止線は警察（県）の所管であり、県全体の優先順位に基づいて補修が行われるため時間を要する場合があります。市を通じて警察へ要望することは可能ですので、引き続き改善の要請を行います。

【厚生委員会】

《質疑応答・意見》

- ・ 井ノ口町においては、グラウンドゴルフでお茶の時間などで交流し、4人交代で独居高齢者の見守り活動をしている。町内の3役は、独居高齢者の情報は全て把握し、状況の共有をしている。
- ・ 大きな町内だと見守りが機能しにくい。
- ・ 若年性認知症の家族がいても地区委員が訪問してこなかった。
- ・ 隣人が死亡していたが、家族が帰宅するまで分からなかった。
- ・ 町内の規模が大きいほど目が届きにくいなどの課題がある。

Q シニアいきいき講座が突然なくなったのはなぜか。40年以上続いた講座が突然廃止された理由は予算がないと聞いたが。

A 市担当課に確認します。

※ 執行部から次のとおり回答がありました。

人吉市シニアいきいき講座は、60歳以上の方を対象に、介護予防及びひきこもり防止を目的として、生涯学習の一環として介護保険制度における一般介護予防事業として実施してきました。

令和元年には、厚生労働省より、一般介護予防事業について「介護予防」、「フレイル対策」、及び「認知症予防」のさらなる推進を図る方針が示されました。このことを踏まえ、人吉市においては、健康寿命の延伸に向けた健康づくりや認知症予防、フレイル予防等に特化した講座を新たに計画し、取り組むこととしました。このため、シニアいきいき講座は令和5年度をもって終了いたしました。

なお、シニアいきいき講座において実施してきた文化・芸術に触れる機会を設けることは、豊かな人生を送る上で重要なことであると認識しております。長年継続されてきた取組であることを踏まえ、令和6年度以降は、自主事業または校区公民館事業として継続していただくようお願いし、コミュニティセンターへの申込み等を支援させていただいたところです。

- ・ 老人クラブの加入が進まないのはなぜか。60歳代が入らない、70歳代でも入らないなどの声がある。
- ・ 定年が延びたことも影響しているのではないか。
- ・ 役員不足（入会后、即役員）など老人クラブ存続の課題がある。

Q 漏水で水道料金が高額になった場合、どこに相談すればいいのか。

A 漏水が疑われる場合は、まず業者へ連絡し、修理後に手続きをすれば一定期間の水道料金について減免（返金）対象になる可能性があります。また、水道料金明細書の裏に業者情報があります。なお、よく分からないときは、議員に相談いただければおつなぎいたします。

- ・ コミセン講座の講師料が40年間上がっていない。
- ・ プラスチック容器の油の汚れを落とす水がもったいない。また、ごみ分別の判断が難しい。
- ・ 議員定数減に反対。報酬の増は賛成。その分しっかり地域に貢献してもらえらる。

【経済建設委員会】

《質疑応答・意見》

- Q 山江村に近いところがイノシシなどによる被害が多い。山江村では、村が柵を購入して、設置作業は自分たちでやるようになっている。人吉市でも、補助金を出す地域を決めて、計画的に予算を取ってやれないか。
- A 調査して優先度をつけて対応していくという提案も必要だと思います。鳥獣被害については、どこの自治体でも大問題です。自治体ごとにやっても解決が難しい状況です。議員間で、広域で取り組めないかという話もしております。議会として、提案できるところまで今後持っていきたいと考えています。
- Q 金網柵の場合に草刈りができない。草刈り機の紐（ナイロンコード）でも難しい。山江村では今それが問題となっていると聞くが。
- A 本市では農業振興課で農業活性化対策事業補助金として経費の一部助成を行い、また農林整備課で鳥獣被害対策を行っていますが、窓口を一本化しないといけないと思っています。
- ・ 市政懇談会等では道路関係の要望が多いが、市の対応は「順次進めてまいります」「検討させていただきます」という回答が毎年あり、計画的にやってほしい。
- Q 万江川の水位が下がっており御溝川の水が少ない。これで火事が発生したら消火用の水を確保できないのではと心配している。取水のための消火栓、防火水槽がどこにあるのかを住民に知らせておくべきではないか。
- A 消火栓と防火水槽については、距離の範囲内で設置してあると聞いています。どこにあるかを地図に落とし込むなど分かりやすく、町内ごとにまとめてもらうよう要望したいと思います。

【全体意見交換会】

《質疑応答・意見》

- ・ 市政懇談会に町内会として3年間出席しているものの、議員の出席が確認できない。
- ・ 議員は選挙時に地域のために尽力する旨を訴えて当選している以上、地域の重要な政策形成段階に関与していないことは問題ではないか。
- ・ 今後は町内会長、老人会長、交通指導員会長、社会福祉協議会関係者、民生委員等の地域各団体から幅広く要望を集約し、その声を反映させる仕組みを構築すべきである。
- ・ 限られた予算に対して多様な要望が寄せられる中、優先順位を明確にし、地域巡回等も含めた分散的・計画的な対応体制が必要である。
- ・ 「順次進める」「調査する」といった回答が多いものの、具体的な進捗や結果が地域住民に見えにくいので、議会として地域代表者を議論の場に取り入れ、優先順位や対応状況を各地区に分かりやすく伝える体制整備を求める。

Q 市政懇談会等の会議に議員は出席しているのか、また議員は会議開催自体を把握しているのか。

A コロナ禍以前は、地区別の懇談会や行政課題に関する会議に、議員にも案内があり出席していました。しかし、コロナ禍以降は議員への案内がほとんどなく、開催状況を新聞報道で知ることもありました。今後はそのような会議が開催される場合は、議員にも案内が届くよう市に働きかけ、市全体の政策問題など議会も情報共有できるようにしていきます。

- ・ ふるさと納税は地域活性化や地域貢献を目的とした寄附であることから、その用途を明確化すべきである。多額の寄附金が集まる中、用途が分散的とならないよう一定の方針を定める必要がある。特に少子化対策へ重点的に活用する必要があり、出生数減少が地域の将来に大きな影響を及ぼすことへの懸念がある。結婚、出産、子育て、教育まで切れ目のない支援策に戦略的に活用すべきであり、医療費や保育料の無償化等、他自治体の先進事例を参考に検討すべきである。また、子育て支援策の充実が移住促進や定住人口の確保にもつながる可能性があるとして、人口減少対策の観点から研究・検討を求める。さらに、具体的な用途や金額について市民に分かりやすく情報公開を行うことが重要であり、議会としても地域代表として用途の検証及び方向性の議論を深めるべきである。
- ・ 市民の声を聞く機会として意見交換会は重要であるが、寒冷期の開催では高齢者の参加が困難である。より参加しやすい時期での開催を検討すべきである。

- ・ 人吉市は自然・歴史・文化に恵まれた地域であり、特に球磨川沿いの景観は優れた観光資源である。川沿いの散策路整備やベンチ設置等、景観を生かした空間づくりを進めることで、市民及び観光客双方にとって魅力的な環境となる可能性がある。また、これら地域資源の積極的な周知も重要である。
- ・ 川辺川ダム建設について反対である。大規模ダム建設は自然環境への影響が大きく、森林伐採等の課題も懸念される。ダムに依存しない治水対策について、他地域の事例を研究し検討する余地があるのではないか。
- ・ 市内の町内会は世帯数規模に大きな差があり、小規模町内会では役員確保が困難で運営が成り立ちにくい状況がある。高齢化も進行しており、役員の負担が増大している。
- ・ 世帯数の少ない町内会では必要な役職維持が難しく、合併や再編など持続可能な体制づくりを検討すべきではないか。実際に合併事例も存在することから、地域の実情に応じた見直しが求められる。
- ・ 行政は支援姿勢を示しているものの、再編の判断は各町内に委ねられている現状があり、地域内のみでの解決は困難である。議員が地域間調整や後押しを行い、地域の声を丁寧に聞きながら再編や連携を促す役割を果たすことが有効ではないか。また、町内会活動や祭り等の地域行事は住民同士のつながりを強める重要な機会であり、小規模化・高齢化が進む中、広域的に連携を図ることが地域活性化につながるのではないか。
- ・ 私の地域では世帯数が減少し、75歳以上の高齢者が約3分の1を占めている。人口減少及び高齢化の進行を踏まえた地域運営の在り方を検討すべきである。

A 以前、議会でも取り上げて難しい課題だと認識しています。各町内会に入り意見を集約しています。また、今後市と協議していく必要があると考えています。議長を中心に地域運営や町内会の在り方について引き続き検討していきます。

【 令和8年1月31日（土）人吉市役所 】

人吉市議会報告会アンケート集計17名回答

● あなたの年齢・性別について

- ・ 50歳代 3名(男性3名)
- ・ 60歳代 7名(男性5名・女性2名)
- ・ 70歳代 7名(男性6名・女性1名)

● あなたのお住まいについて

- ・ 東校区 6名
- ・ 西校区 3名
- ・ 東間校区 4名
- ・ 大畑校区 0名
- ・ 西瀬校区 4名
- ・ 中原校区 0名

● 議会報告会を知ったきっかけについて

- ・ チラシ 4名
- ・ 市議会だより 5名
- ・ 市議会 Facebook 1名
- ・ 市ホームページ 3名
- ・ 市 Facebook 0名
- ・ 市 LINE 0名
- ・ その他 4名

● 報告会場について

- ・ よかった 12名
- ・ 普通 3名
- ・ その他 0名
- ・ 無記入 2名

● 会場設営について

- ・ よかった 8名
- ・ 普通 7名
- ・ 工夫が必要 0名
- ・ 無記入 2名

● 報告内容について

- ・よかった 5名
- ・普通 9名
- ・工夫が必要 1名
(早口でよく聞き取れないところもあり、資料の説明では何ページと言ってほしい)
- ・無記入 2名

● 今後希望される開催日時について(複数の回答あり)

- 平日の午前 0名 ・ 平日の午後(昼間) 4名 ・ 平日の夜間 3名
- 土曜の午前 2名 ・ 土曜の午後(昼間) 11名 ・ 土曜の夜間 2名
- 日曜の午前 3名 ・ 日曜の午後(昼間) 3名 ・ 日曜の夜間 1名

● 次回の意見交換で取り上げてもらいたいテーマについて

- ・人吉市の未来と若者定住について
- ・福祉について
- ・観光振興について
- ・移住、定住対策について
- ・魅力あるふる里の発信について
- ・高齢者の移動手段、不便対応について
- ・市町村合併、人吉球磨圏域のことについて
- ・行政施策の優先順位の決め方について
- ・給食費の無償化について

● ご意見・ご感想など

- ・3部門に分かれた交換会は、テーマを絞ってあったので中身が充実していてよかった。
- ・全体会でも活発な意見があり、様々な話を聞くことができ有意義だった。
- ・このような報告会や意見交換会は大切と思います。行政当局が市議会に提示した資料は可能な限りホームページに公開してほしいと思います。
- ・議会活動の周知と議員立法を活発に。
- ・行政視察、先進地視察で研修なさった内容を市民にも共有していただきたいと思います。共に学ぶ会の開催とか検討していただければと思います。
- ・市議会の皆さんは私共市民の代表です。話し合いを深めよりよい人吉、住みやすい人吉になるよう真摯に話し合いを進めていきましょう。
- ・執行部に対する質問が多い。意見をメインにしてもらった方がいいのではないか。
- ・分科会(厚生委員会)において、同じ話題(郵便物の件)が長すぎて質問できなかった。進行役の方は時間配分を考えてほしかった。

【 令和8年2月1日（日）東西コミュニティセンター 】

人吉市議会報告会アンケート集計15名回答

● あなたの年齢・性別について

- ・ 50歳代 1名(男性1名)
- ・ 70歳代 12名(男性6名・女性6名)
- ・ 80歳代 2名(男性1名・女性1名)

● あなたのお住まいについて

- ・ 東校区 4名
- ・ 西校区 8名
- ・ 東間校区 1名
- ・ 大畑校区 0名
- ・ 西瀬校区 1名
- ・ 中原校区 0名
- ・ その他 1名

● 議会報告会を知ったきっかけについて

- ・ チラシ 5名
- ・ 市議会だより 5名
- ・ 市議会 Facebook 0名
- ・ 市ホームページ 0名
- ・ 市 Facebook 0名
- ・ 市 LINE 0名
- ・ その他 4名
- ・ 無記入 1名

● 報告会場について

- ・ よかった 9名
- ・ 普通 6名
- ・ その他 0名

● 会場設営について

- ・ よかった 9名
- ・ 普通 6名
- ・ 工夫が必要 0名

● 報告内容について

- ・よかった 9名
- ・普通 5名
- ・工夫が必要 1名

● 今後希望される開催日時について(複数の回答あり)

- 平日の午前 1名 ・ 平日の午後(昼間) 1名 ・ 平日の夜間 2名
- 土曜の午前 1名 ・ 土曜の午後(昼間) 2名 ・ 土曜の夜間 0名
- 日曜の午前 1名 ・ 日曜の午後(昼間) 4名 ・ 日曜の夜間 0名

● 次回の意見交換で取り上げてもらいたいテーマについて

- ・教育について(道徳・脱デジタル)
- ・コンサルタントについて
- ・社会実験の結果報告

● ご意見・ご感想など

- ・ふるさと納税の使い道でご存じない議員さん方でびっくりしました。企業型の方もどうでしょうか。
- ・意見交換会の時間をもっと取ってほしい。
- ・日頃の活動には感謝申し上げます。
- ・若い人の参加がないので、どうしたら参加してもらえるか工夫が必要。
- ・寒い時期でなく、皆が参加しやすいときをお願いしたい。
- ・年に何回かしてほしい。
- ・報告会を知らない人が多いので、せっかくのチャンスを逃すのはもったいないと思います。
- ・勉強になりました。高齢者は少々仲間外れになりそう。
- ・色々な身近の問題が出ていて参考になりました。1年に2～3回意見交換会を開催してほしい。